

不動産鑑定評価講習会及び 営業補償のための財務諸表の見方講習会

関東地方整備局は、適正かつ円滑な用地業務の推進に向けて、これまで蓄積されてきたノウハウを活かしつつ、さらなるスキル・ネットワーク・アピールの向上（「3アップ」）に向けて取り組んでいます。

補償内容の複雑化が進むなか、用地（担当）職員のスキルアップが必要な状況であるため、より実践的な内容での講習会を実施し、用地（担当）職員の資質向上を図ることを目的として、平成30年1月9日（火）に、不動産鑑定評価講習会及び営業補償のための財務諸表の見方講習会を開催いたしました。



講習会会場風景
（参加者422名）

さいたま新都心合同
庁舎1号館
2階 講堂

【第一部】不動産鑑定評価講習会

講師：海老原 彰 氏（不動産鑑定士）

不動産鑑定評価の概要、土地の補償額算定における不動産鑑定評価の位置づけ等について講義いただきました。

【講師プロフィール】

1974年東京都庁入都。公共事業に伴う用地取得、国土利用計画法に伴う審査に関する評価に従事。1993年不動産鑑定事務所を開業し、損失補償の実務を中心に活動。現在、株式会社都市総合マネジメント代表取締役。都市づくり補償研究所代表。不動産鑑定士、米国不動産鑑定士（ASA認定シニア・アプレーザー）。

今までに東京都施行市街地再開発審査会委員、収用委員会・各自治体・地区用地対策連絡協議会にて研修講師を歴任。著書に「公共事業のための用地買収と損失補償—移転支援策の確立をめざして」などがある。

【第二部】営業補償のための財務諸表の見方講習会

講師：山北 浩史 氏（中小企業診断士）

財務諸表の見方を中心として事例を交えて講義いただきました。

【講師プロフィール】

大学卒業後、製薬会社での勤務を経て、1985年経営コンサルタントとして起業。1990年中小企業診断士資格を取得。現在、(株)理夢コンサルティング代表取締役、山北事務所代表、特定非営利活動法人経済活動支援チーム（NPO—EAST）専務理事、経済産業大臣・国土交通大臣委嘱地域中小企業サポーター、国土交通省建設業産業生産性向上支援事業統括マネージャー、国土交通省関東地方整備局用地補償審議委員会委員などを務める。中小企業診断士、行政書士、商業施設士、知的財産管理技能士。